



ESG金融 ハイレベル・パネル

# 『ESG金融大国』に向けたグランドデザイン



2019年 2月28日

一般社団法人 全国銀行協会

会長 藤原 弘治



一般社団法人

全国銀行協会

## 持続可能な社会の実現のため、銀行界は世の中の「結節点」としての役割が期待される

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



### ESG金融懇談会 提言(前文)

「パリ協定とSDGs が目指す脱炭素社会、持続可能な社会に向けた戦略的なシフトこそ、我が国の競争力と『新たな成長』の源泉であるとの認識の下、直接金融において先行して加速しつつあるESG投資をさらに社会的インパクトの大きいものへと育むとともに、**間接金融**においても地域金融機関と地方自治体等の協働と、グローバルな潮流を踏まえた金融機関の対応によりESG融資を実現する必要がある(後略)。」

## 間接金融に係る提言の具体的な内容

- ① 「地域金融機関は、**経営トップ層のリーダーシップの下**、組織全体としてこうした認識を持ちながら、体制や人材を整え、事業性評価に基づく融資や本業支援に真に取り組むべき」
- ② 「地域金融機関が、非財務情報の一つとして、**ESG、SDGsを重視した取組についても開示を行う**ことは有効」
- ③ 「地域金融機関には、地域の特性に応じた**ESG要素に考慮した金融機関としての適切な知見の提供やファイナンス等の必要な支援(ESG地域金融)**が期待される」
- ④ 「地域循環共生圏の創出に向けては、**事業性評価において環境要素を組み込むなどの、特に“E”に着目した地域金融**の一層の促進が重要」
- ⑤ 「**中小企業経営者は、ESG 経営の重要性に係る認識を深める**ことを期待したい」
- ⑥ 「金融機関は、**気候変動課題の解決に資する事業に対する融資等について、定量的に把握し、その規模や特性等を踏まえて開示していくことも有効**と考えられる」
- ⑦ 「ESG 金融の質の向上及び量の拡大のためには、**現場の担い手の能力・意欲向上**や、ESG 金融の実践に向けた情報分析・研究が不可欠である」

「時代の転換期にあたり  
社会的課題の解決に貢献する一年」

～信頼感と存在感～

・2018年3月、銀行役職員一人ひとりの行動の指針として定めている「行動憲章」を改定

【 行動憲章の改定ポイント 】

【 関連するSDGs目標 】

第1条	(銀行の公共的使命)	社会的課題への対応を追記
第2条	(質の高い金融サービスの提供)	
第5条	(人権の尊重)	新設
第7条	(環境問題への取組み)	気候変動への対応を明記
第8条	(社会参画と発展への貢献)	
第9条	(反社会的勢力との関係遮断、テロ等の脅威への対応)	



・SDGsを推進するため、「SDGs/ESG推進検討部会」を設置、9つの取組項目を策定



SDGs目標	取組項目
	①. 会員行の取組状況の把握、 <u>融資ポリシーの策定</u> に係る各種サポート
	②. <u>金融経済教育</u> の推進・拡大
	③. 決済高度化、FinTech等を通じた顧客利便性向上に資する取組み
	④. <u>TCFD提言</u> 、および低炭素問題についての研究・対応
	⑤. 金融犯罪およびマネロン、FATFへの対応
	⑥. 女性活躍推進、働き方の改革推進
	⑦. 人権に関する対応
	⑧. 地域経済の活性化、地方創生への取組み
	⑨. 高齢者等様々な利用者に対する金融アクセス・サービスの拡充等

全銀協における SDGs への取組み (2018 年度)

融資ポリシー策定に関する研究・調査、および TCFD の提言を受けた取組みに関する調査



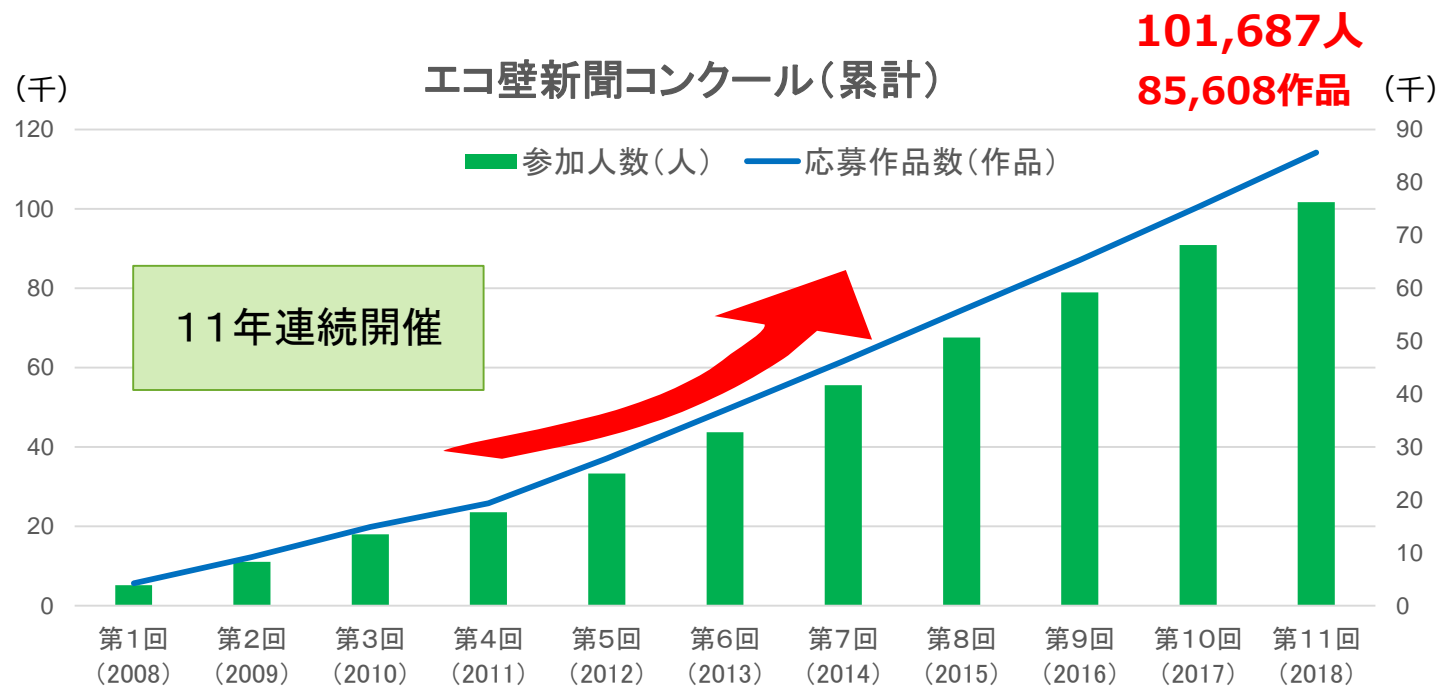
2019 年 3 月

JBA 一般社団法人  
JAPANESE BANKERS ASSOCIATION  
全国銀行協会

- ・融資ポリシー策定、TCFD提言を受けた対応に係る国内外の事例・動向を全銀協が調査
- ・会員銀行向けに還元し、会員銀行の取組みを後押し

# ・全世代に向けたESG金融教育が、これからの国と未来を創る

- 全銀協は、次世代を担う全国の小学生を対象に、地球の環境問題等をテーマにした「ECO壁新聞コンクール」を2008年より2018年度まで**11年連続で開催**。
- これまでの参加者数は延べ**10万人を突破**



## ■ 2018年度 全国銀行協会賞 受賞作品





## 300名の銀行員が参加し、7割が「意識が変わった」と回答



SDGsは  
負わされる「負担」  
ではなく、  
担うべき「責任」



- ・全銀協の2018年度のSDGs/ESG推進に係る活動の“総まとめ”
- ・会員銀行の好事例紹介
- ・英語版も作成し、海外にも発信

# 『ESG金融大国』に向けたブランドデザイン

# 『ESG金融大国』とは何か？

それは……

・銀行は、間接金融ならではの 3つの立場からチャレンジする

A. 資金供給者

B. 課題解決の  
パートナー

C. 投資家に情報開示を  
求められる一企業

おカネに  
意図をもたせ、  
ファイナンスで  
社会を変える

お客さまと  
ともに悩み、  
ともに汗をかく  
存在

ありがたい姿を示し、  
リスクや機会など  
透明性ある開示

## サステナブル・ファイナンス

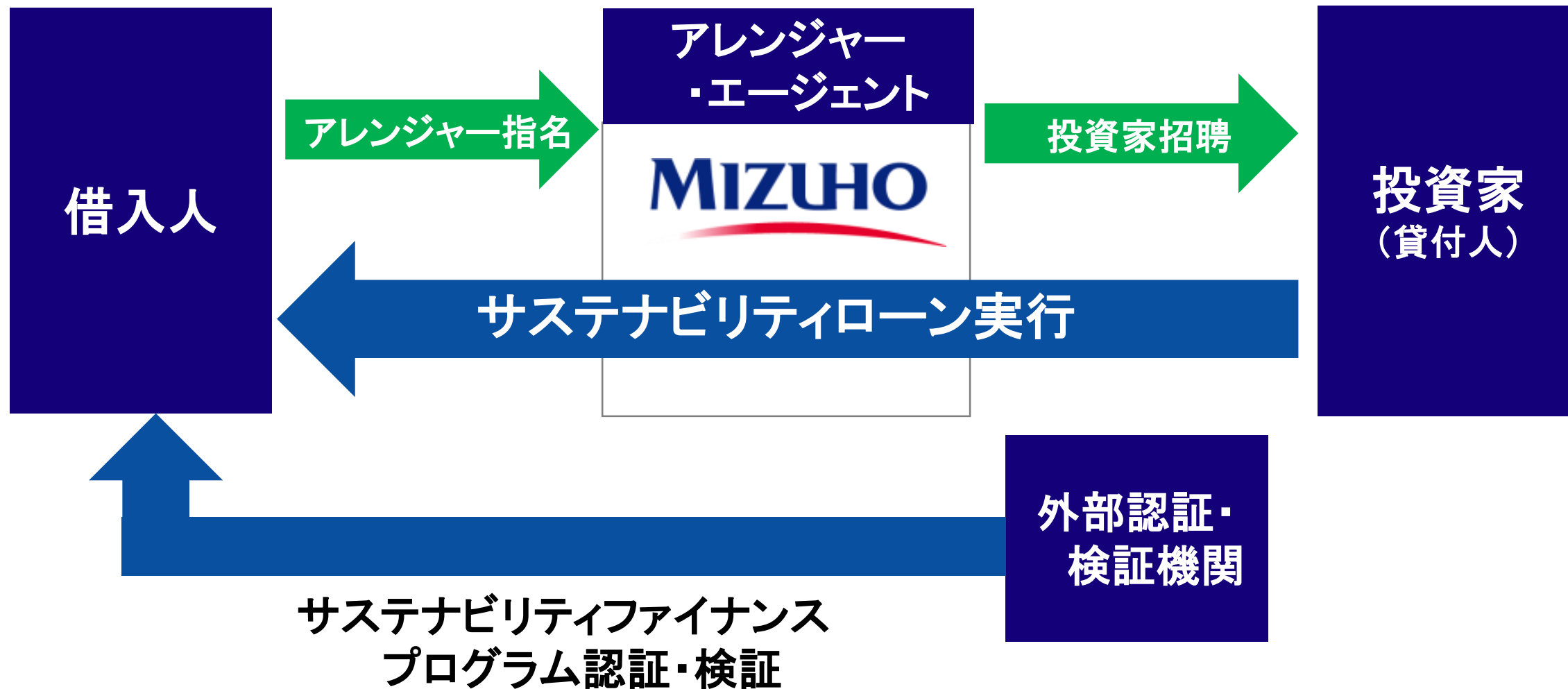
本来おカネに色はないが、  
“**意思あるお金**”として  
資金を供給

サステナブルファイナンスを  
積極的に推進

- 再生可能エネルギー発電プロジェクトへの融資
- 環境配慮型融資
- グリーンローン
- サステナビリティローン など

銀行は、社会を変える力がある

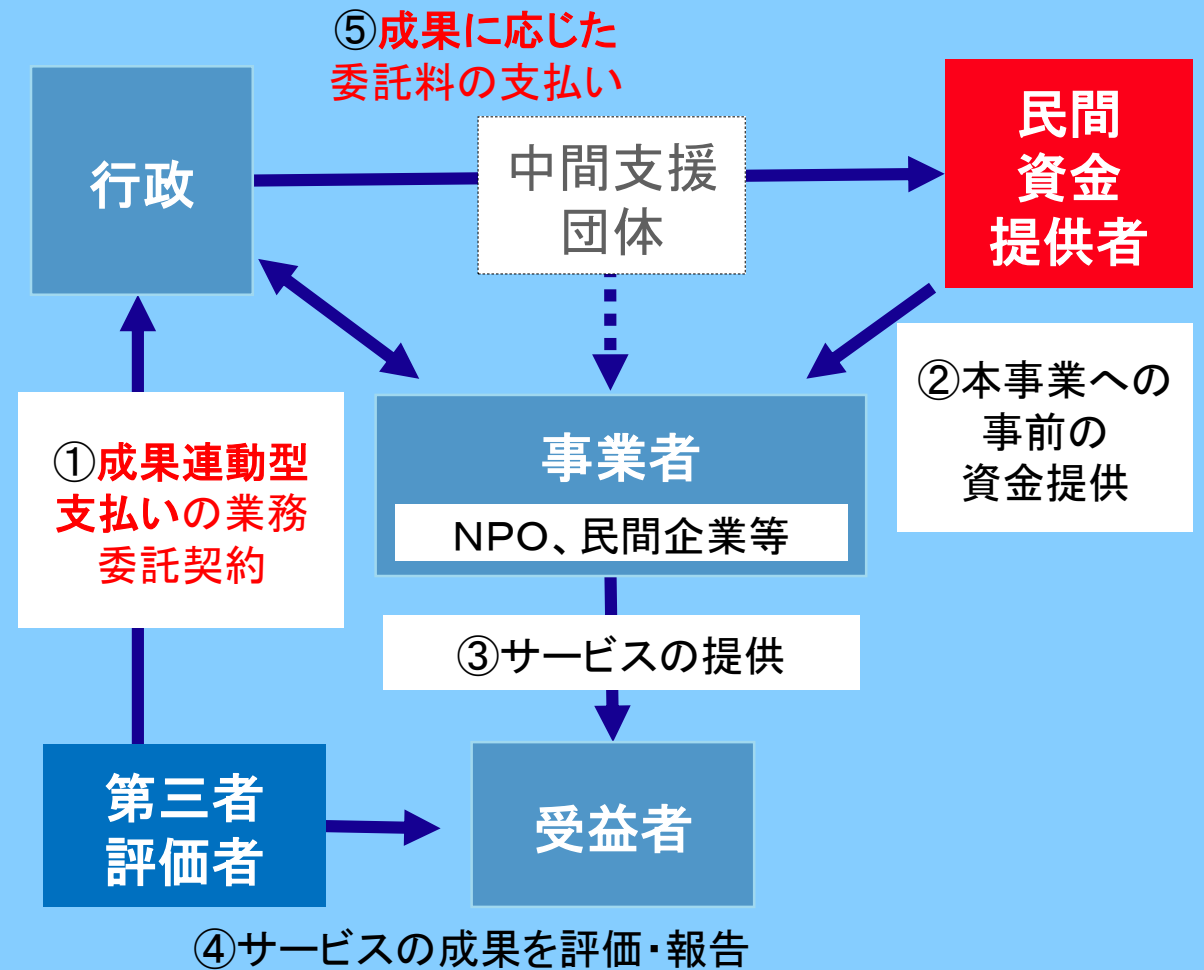




## ソーシャルインパクトボンド (SIB)

- ・社会的な課題が発想の起点
- ・「業務の履行」ではなく、「事業の成果」に応じた支払い
- ・「規模の拡大」が大きな課題
- ・広島では“複数”の自治体・“複数年”契約での案件組成

## SIBは究極のパートナーシップ





## ビジネスマッチング

金融面の支援にとどまらない

“総力戦”で、**企業価値の向上**と

**社会課題の解決**という

共通価値の創造に貢献

銀行は、企業と企業を繋ぐ「**結節点**」に



## 環境コンサルティング

- 環境経営コンサルティング
  - 環境経営ビジョン策定
  - 温暖化対策 経営戦略策定
  - CO2排出量の見える化などを支援
- エネルギー・資源
  - 環境・エネルギー技術の評価
  - 再生可能エネルギー事業化
  - 温室効果ガス削減に関するコンサルティング など

お客様の様々な課題解決に向けて、  
情報とソリューションを提供



## 透明性ある開示

- 統合報告書の発行
- TCFD提言への対応
- 「人権方針・環境方針・特定セクターに対する取組方針」などを制定



# 銀行の意思決定プロセスへの「ESG要素」の統合 銀行員一人ひとりの「ESG金融リテラシー」向上



ご清聴ありがとうございました